

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束防止の必要性や施錠をしないで安全面への配慮を行うにはどのような工夫ができるかなど職員間で話し合い、認識をより深めていくことが望まれる。(身体拘束をしないケアの実践)	帰宅願望のある利用者に(安心)への配慮を行い、各利用者が自由で安全・安心な生活を送る。	利用者が安心して暮していけるように声掛けや見守りを行い転倒や事故を防止する。	12ヶ月
				出入口を施錠しない時間帯をつくり開放した空間を提供する。	12ヶ月
2	20	利用者から、馴染んできた場所や人の話しを聞く機会を持ち、支援に活かすことが望まれる。職員との馴染みの関係を築きやすい職員体制を期待する。(馴染みの人や場との関係継続の支援)	地域の人達(交友)や利用者家族にも面会の機会を増やして頂けるようにする。	利用者の生活歴を日々の会話の中から取り入れることで、それぞれの利用者から「懐かしい」と思えるようなコミュニケーションを図る。	12ヶ月
				家族との関わりや交友関係を認知症になっても大事にし、又家族や交友関係の方が気軽に会いにこれるような所内雰囲気を作る。	12ヶ月
3	26	利用者との関わりを密にして、利用者のできること、したいことを十分考慮し、その人らしい暮らしができる介護計画となることを期待する。(チームでつくる介護計画とモニタリング)	一人一人の利用者の、その人らしい生活が送れる。	利用者一人一人のニーズをコミュニケーションにて把握し、全職員が周知しておく。	12ヶ月

				利用者がしたい事をするにあたり、転倒や転落の事故に繋がらないように職員全体で事故防止に努める。	12ヶ月
4	35	夜間を想定した訓練も実施し、また食料の備蓄等災害に備えた物品を用意しておくことが望まれる。(災害対策)	地域の方との顔なじみの関係を作りコミュニケーションを図り地域に根付いていく。	買い物や散歩時に挨拶を交わしコミュニケーションを図る	12ヶ月
				散歩時、ルートでのゴミ拾いを行う。	12ヶ月
			地域の方との顔なじみの関係を作りコミュニケーションを図り地域に根付いていく。	まずは、地域の避難訓練に参加できるよう働きかけホームでの避難訓練にも参加して頂けるような関係を作り連携体制を整えていく	12ヶ月
			災害や天災等が発生した場合の食材の確保	災害や天災等が発生した場合の食料確保の為、前もって賞味期限の長い保存食品を備蓄していく。	12ヶ月
5	40	利用者のできること、したいことに配慮し、準備から片付けまで、生活の中で食事の一連の時間を共に行い楽しむ支援が望まれる。(食事を楽しむことのできる支援)	利用者一人一人が役目を持ち、食事の時間が楽しめる。	転倒に注意しながら食事の準備・調理・片付け等をして頂く。	12ヶ月
				感染予防の為に手指消毒を行う。	12ヶ月

				包丁等は危険な為、安全・安心に使用して頂けるように職員が常に付き、見守り・声掛けを行う。	12ヶ月
6	52	暮らしを感じられる装飾や調度品の工夫、家具の配置等で、利用者が思い思いに過ごせる生活感のある住まいの共用空間となることが望まれる。(居心地のよい共用空間)	利用者一人一人の居住空間を大切にする。	季節や昔を懐かしく感じられる調度品を置く。	12ヶ月
				各利用者が安全に移動できるように家具の配置を工夫する。	12ヶ月
					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。